

1895年6月14日～1912年7月30日
台湾領有以降

最高意思決定機関

枢密院

帝国議会

大審院

内閣

台湾事務局

1895年6月14日新設→1896年4月10日に拓殖務省へ
1897年9月2日再設置→1898年2月20日内務省へ

鉄道院

1908年12月4日新設

南満洲鉄道株式会社

拓殖局

1910年6月22日新設

拓殖局総裁

拓殖局総裁官房

第一部

第二部

外務省

外務大臣

外務次官

外務大臣官房

1900年5月20日→総務局に改編
1903年12月5日再設置

総務局

1900年5月20日再設置

政務局

第一課

通商局

取調局

1911年7月29日再設置
→1913年6月13日廃止

大蔵省

大蔵大臣

大蔵次官

大蔵大臣官房

総務局

1900年5月20日再設置
1903年12月5日→大蔵大臣官房に統合

主税局

関税局

1909年11月5日再設置

国債局

1897年4月28日→理財局へ改編
1909年11月5日再設置

理財局

1897年4月28日新設

監督局

1897年4月28日新設
1898年11月1日→理財局へ統合

臨時沖縄土地整理事務局

1898年7月15日新設
1904年3月31日→主税局へ統合

造幣局

印刷局

臨時税関工事部

1899年5月20日新設
1906年4月1日→臨時建築部に統合

臨時建築部

1903年10月1日新設

醸造試験所

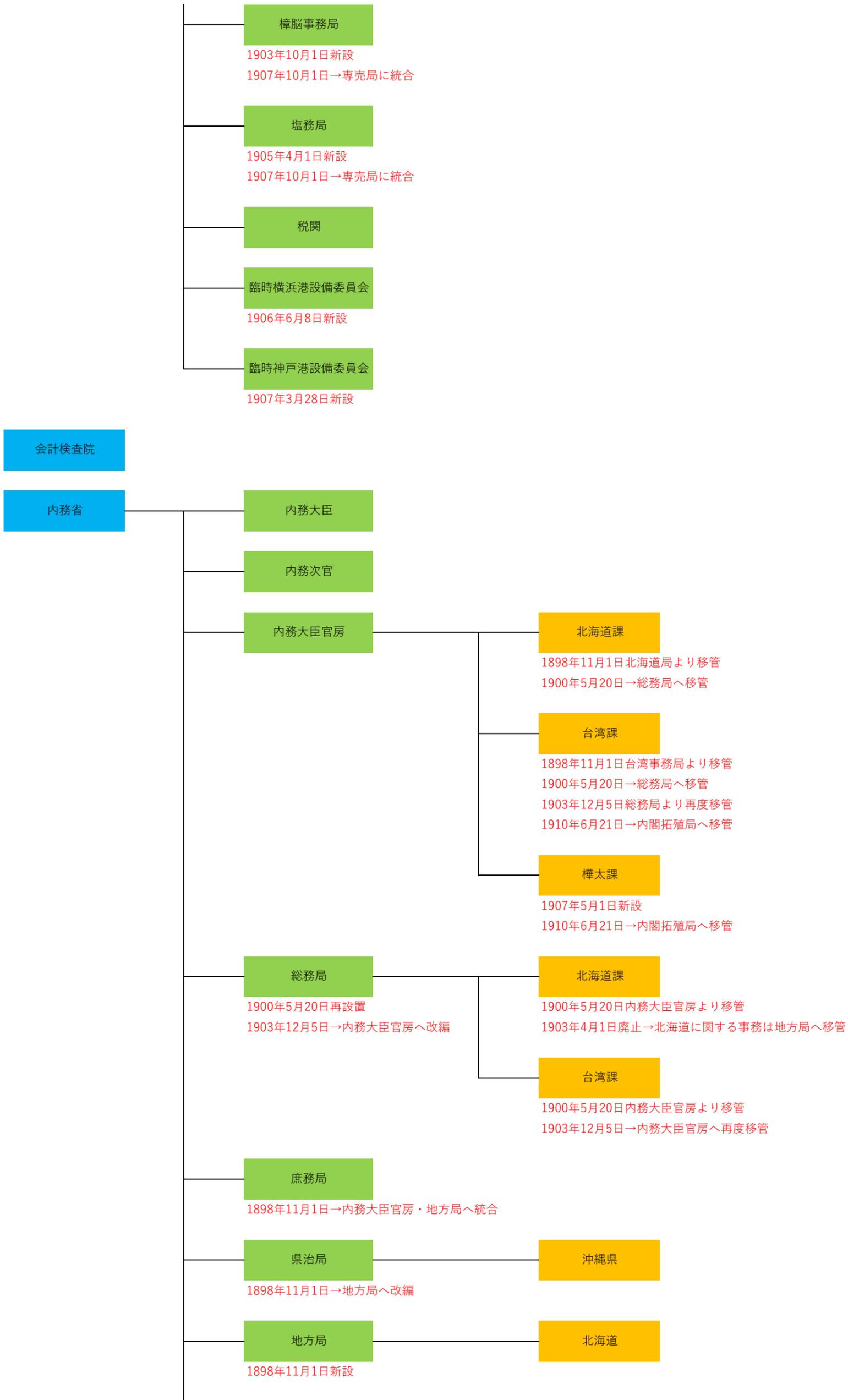
1903年10月農商務省より移管

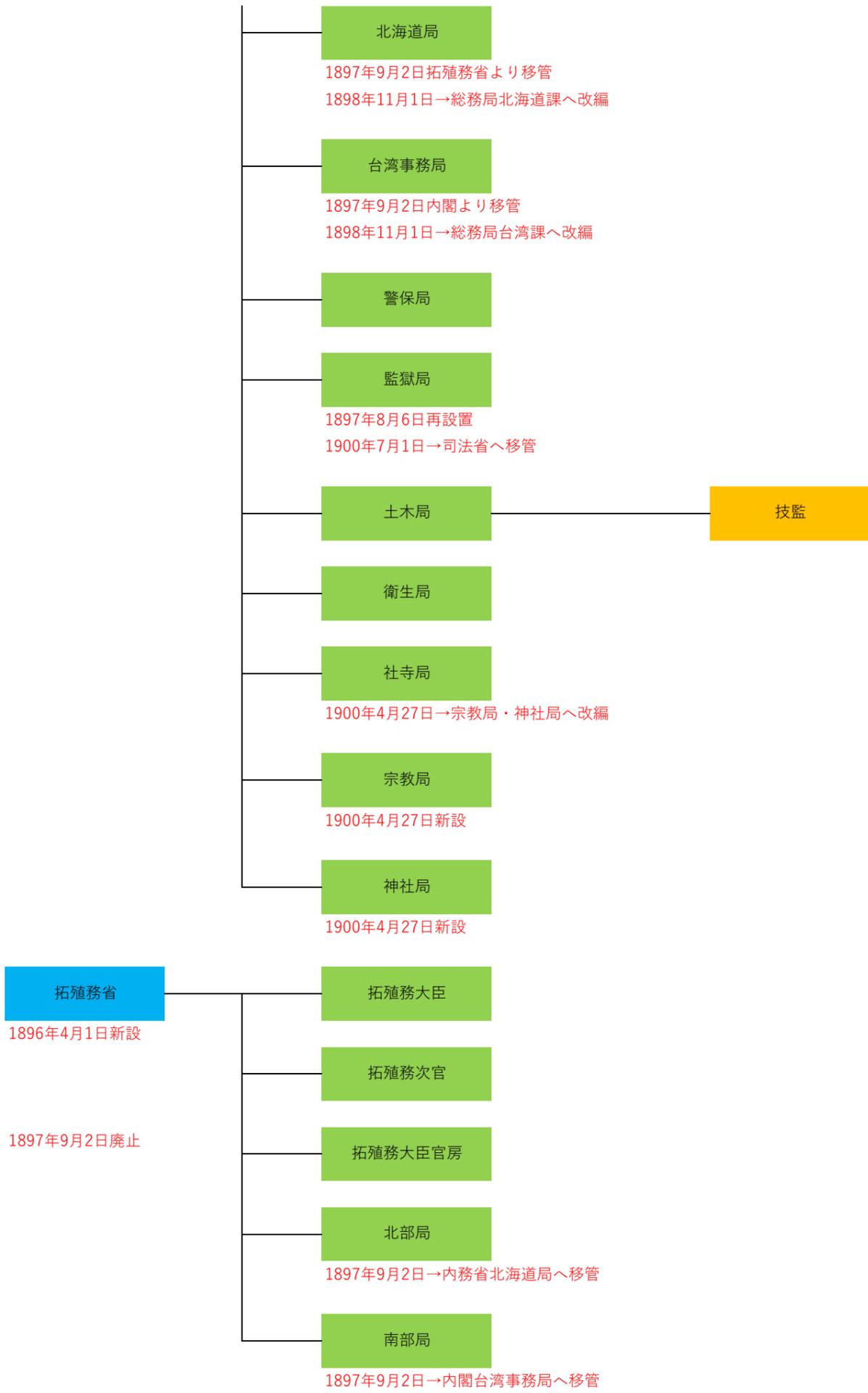
専売局

1898年11月1日新設
1904年6月1日→煙草専売局に改編
1907年10月1日再設置

煙草専売局

1904年6月1日新設
1907年10月1日→専売局に統合





司法省

陸軍省

陸軍大臣

陸軍次官

陸軍大臣官房

1900年5月20日→総務局へ改編
1903年12月5日再設置

軍務局

1900年5月20日→一部業務を人事局へ移管

経理局

1891年8月16日新設

総務局

1900年5月20日再設置

人事局

1900年5月20日新設

兵器局

1908年12月18日新設

工兵方面

1897年9月廃止→築城部へ改編

築城部

1897年9月15日新設

陸地測量部

臨時台湾電信建設部

1895年6月24日新設

臨時台湾燈標建設部

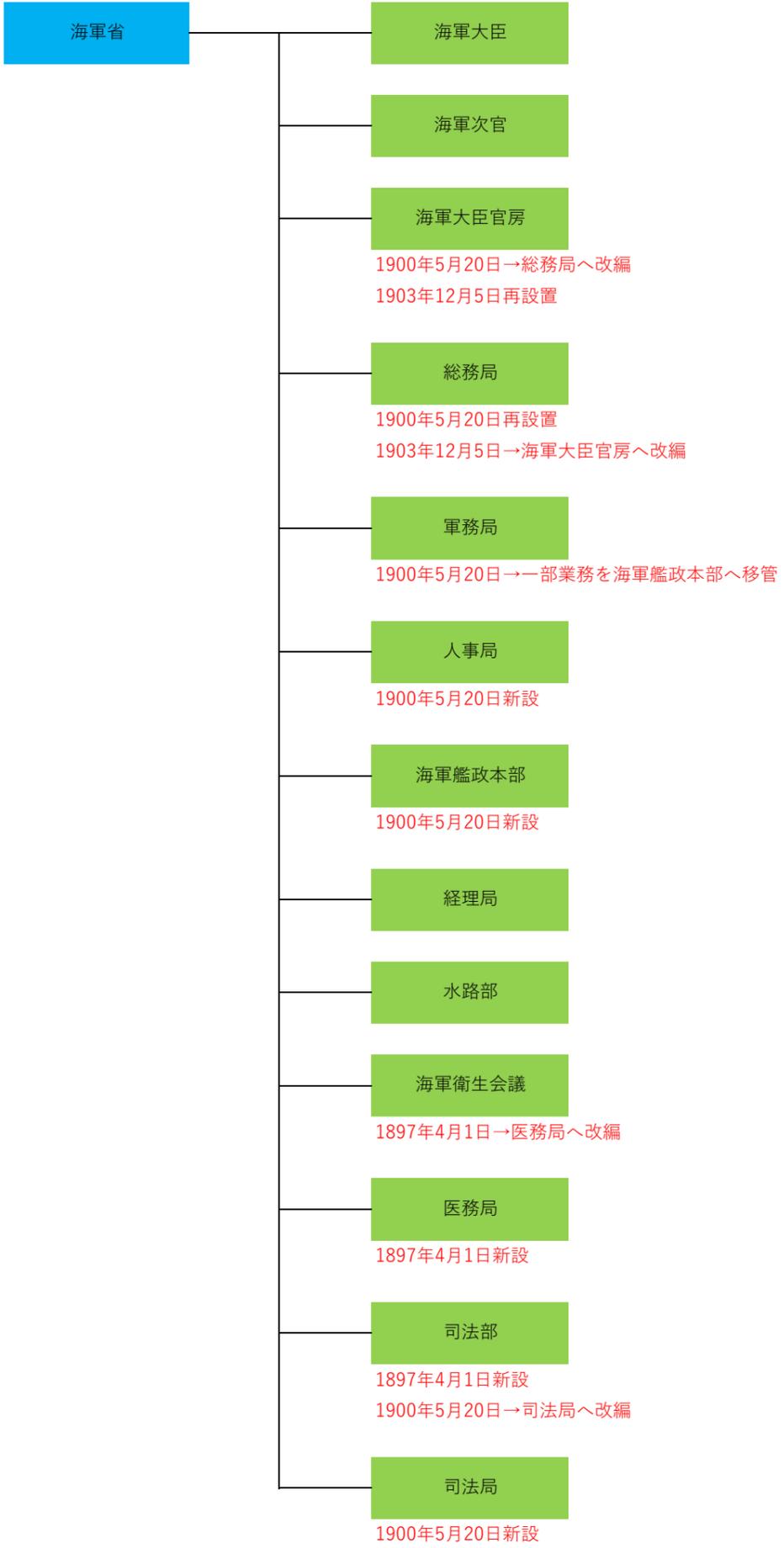
1895年6月24日新設

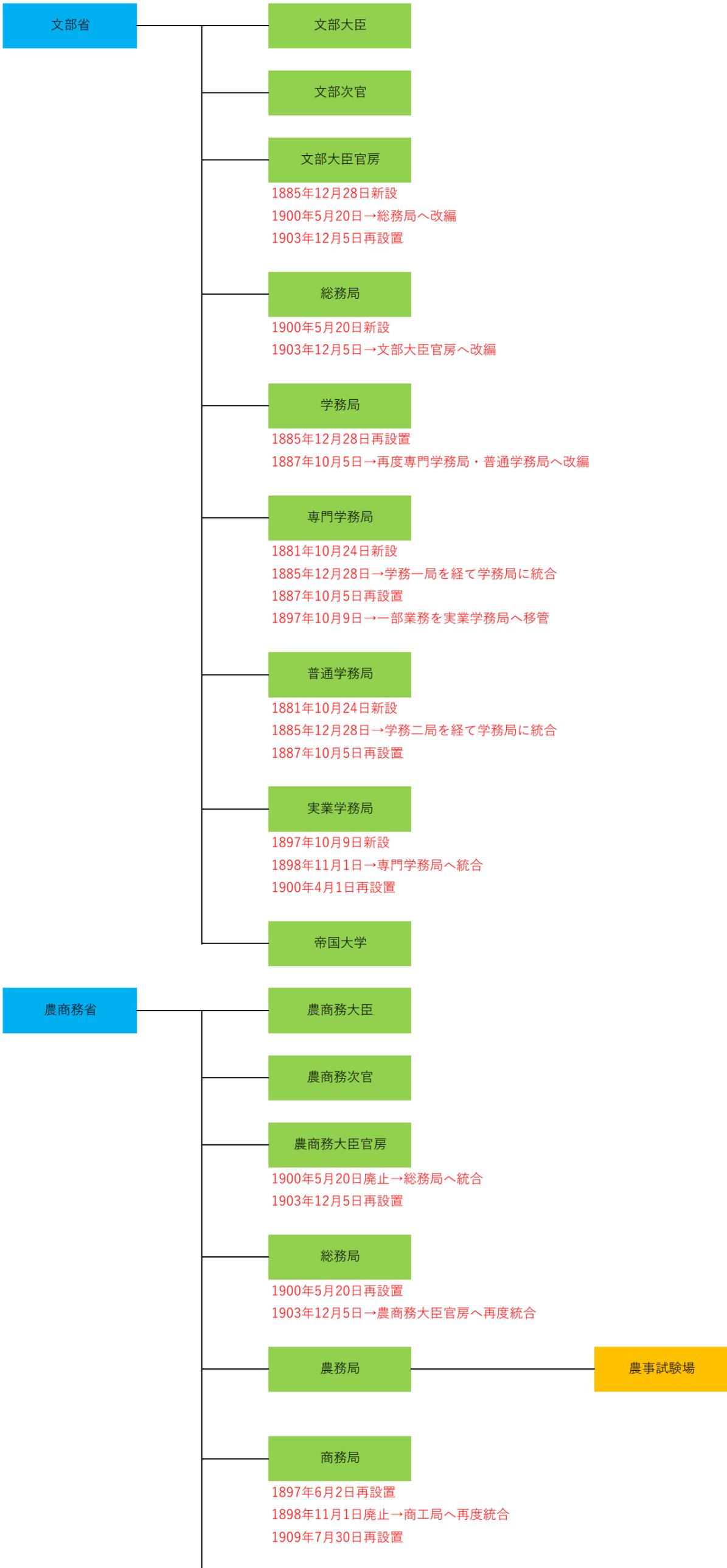
医務局

1890年3月27日廃止→軍務局に統合

法務局

1900年5月20日法官部を改編







通信省

通信大臣

通信次官

通信大臣官房

監査局

1897年8月18日新設
1898年11月1日廃止

経理局

1903年12月5日新設

郵務局

1897年8月18日再設置
1898年11月1日廃止→通信局へ再度改編

電務局

1897年8月18日再設置
1898年11月1日廃止→通信局へ再度改編

通信局

1898年11月1日再設置

鉄道局

1908年12月5日廃止→内閣鉄道院へ移管

鉄道作業局（外局）

1897年8月18日新設
1907年4月1日廃止→帝国鉄道庁へ移管

臨時鉄道国有準備局

1906年5月24日新設
1909年7月24日廃止

帝国鉄道庁（外局）

1907年4月1日新設
1908年12月5日廃止→内閣鉄道院へ

郵便為替貯金管理所
（外局）

1903年12月5日廃止

郵便貯金局

1909年7月24日新設

管船局

海員審判所

1896年4月1日新設

電信燈台用品製造所

1898年11月1日新設

